

○金沢河川国道事務所が行った対応

●洪水に関する情報提供

梯川水防警報は、7月16日～19日の間 延べ16回発令した。

梯川洪水予報は、警報も含めて、7月16～19日の間 延べ30回 金沢气象台と合同で発表した。

手取川水防警報は、7月17日～19日の間 延べ9回発令した。

手取川洪水予報は、警報も含めて、7月17～19日の間 延べ13回 金沢气象台と合同で発表した。

●排水機場の運転（2箇所）

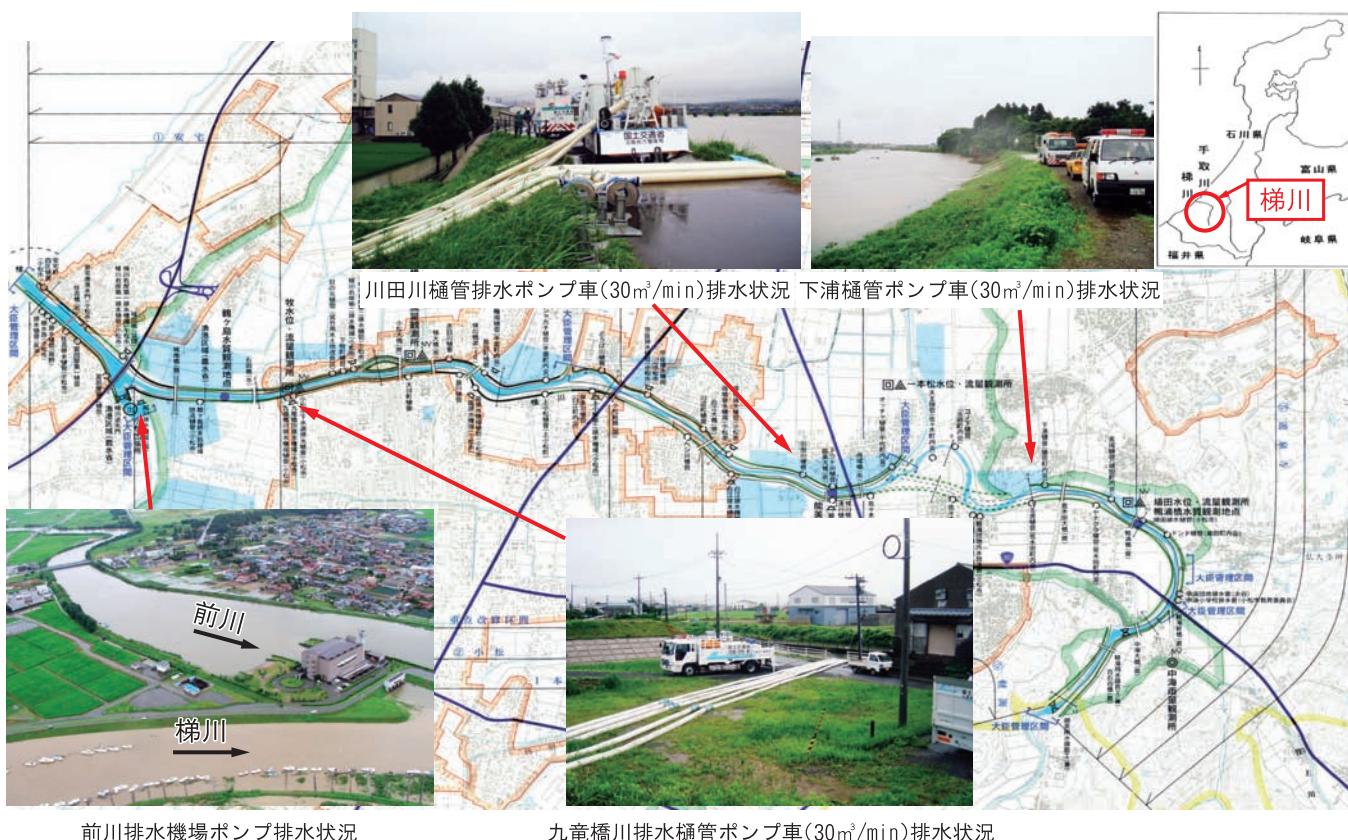
場 所	排水時間
前川排水機場（梯川）	73時間20分
やすまる 安産川排水機場（手取川）	21時間55分

●排水ポンプ車・照明車の支援（小松市への支援）

梯川沿いの小松市からの要請を受け、国土交通省所有の5台の排水ポンプ車等を3箇所へ派遣した。

河川に排水できずにはん濫した水の合計約156,300m³（25mプール521杯分）を排除し、支川等の浸水被害を軽減した。

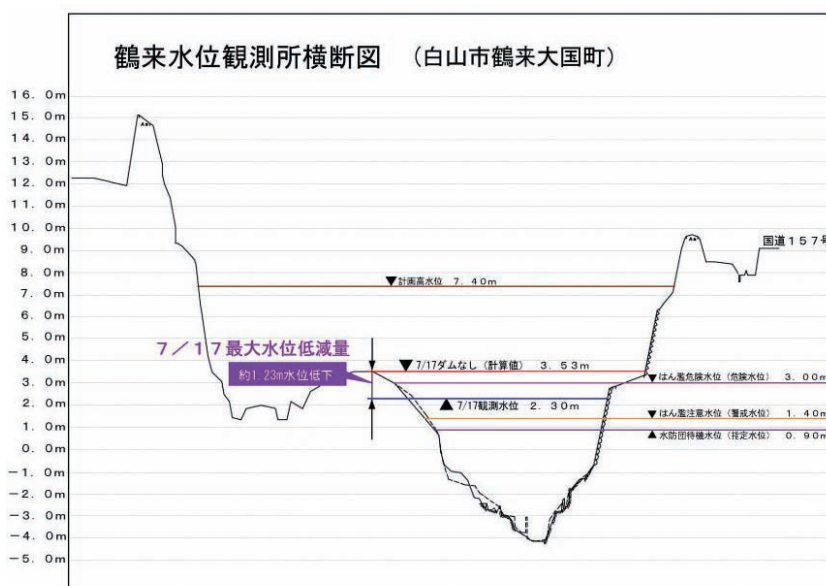
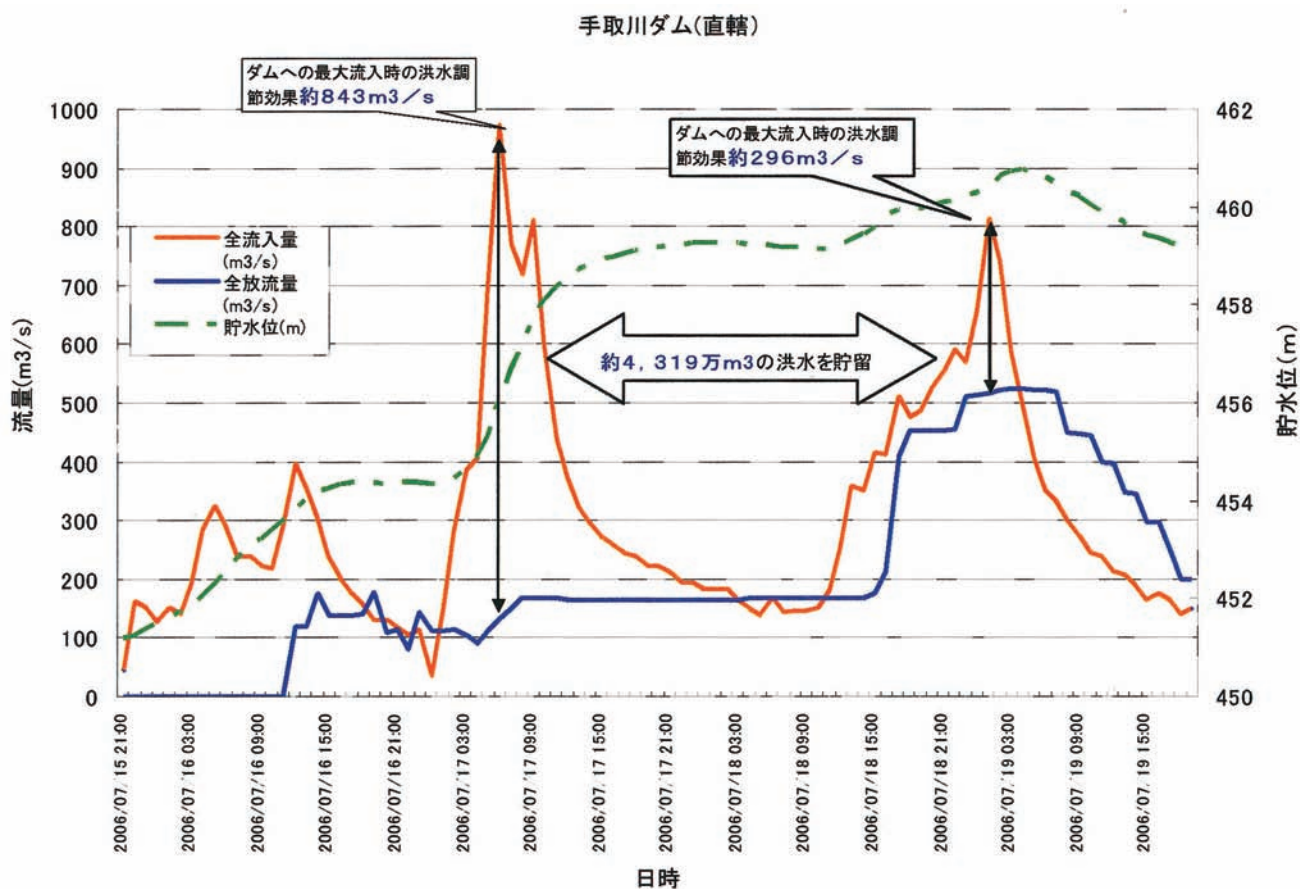
出 動 場 所	機械種別・台数	排水時間	概算排出量	作業人員(延べ人数)
小松市 川田川樋管	排水ポンプ車 2台 照明車 1台	16時間11分	29,130m ³	24名
小松市 九竜橋川樋管	排水ポンプ車 1台 照明車 1台	21時間05分	75,900m ³	31名
小松市 下浦樋管	排水ポンプ車 1台	28時間29分	51,270m ³	16名
計	25mプール 521杯分		156,300m ³	71名



●手取川水系手取川ダム（国土交通省管理）

手取川ダムでは、約4,319万 m^3 の洪水を貯留し、下流の鶴来観測所地点にて約1.23m(計算値)水位低下を図った。

最大流入量1,011 m^3/s （7月17日 5:40）に対して、発電放流（約130 m^3/s ）のみで洪水調節を行った。（下記グラフは、毎正時データにて図示しているため最大流入量のデータは反映されません。）



国土交通省 放流バルブ
手取川ダム放流状況
(7月17日 5:00)

●梯川水系赤瀬ダム（石川県管理）

赤瀬ダムでは、約442万m³の洪水を貯留し、下流の埴田水位観測所地点にて最大約0.91m(計算値)水位低下を図った。

最大流入量 214m³/s（7月17日 9:00）に対して、定率放流（約75m³/s）で洪水調節を行った。

